



かけはし

宇部市立楠中学校だより 第7号

令和7年(2025年)10月21日(火)

<http://www.ube-ygc.ed.jp/ksj/>



学校評価アンケート(前期)の結果をお知らせします

保護者のみなさま、学校評価アンケート(前期)にご協力いただき、ありがとうございました。報告が大変遅くなってしまいましたが、その集計結果をお知らせいたします。

本校の学校運営につきましては、1学期の子どもたちの活動、教職員の業務に関して注視していただき、評価して下さったことに感謝申し上げます。

すべての項目についてご意見をいただいた結果、肯定的な回答ばかりではなかったことを踏まえ、しっかりと検証・改善を重ね、今後の学校運営に生かしてまいります。

【保護者】

	質問事項	肯定的評価
1	わが子は、よくあいさつができる	0.84
2	わが子は、掃除や作業などに一生懸命取り組む	0.82
3	わが子は、楽しく学校生活を送っている	0.84
4	わが子には、悩みを相談できる人が身近にいる	0.93
5	教員は、学力の向上に向けた努力をしている	0.85
6	わが子は、一生懸命に授業に取り組んでいる	0.8
7	わが子は、一生懸命に家庭学習に取り組んでいる	0.71
8	わが子はテレビやゲーム、スマホなど、家で決めたルールを守っている	0.56
9	学校は、地域の特徴や文化を生かした学習活動を行っている	0.69
10	学校に意見や疑問を伝える機会があり、また、相談できる相手がいる	0.62
11	学校行事や日常の教育活動をとおして、わが子が育っていると実感できる	0.84
12	各種のたよりやメール配信によって、学校の様子がわかる	0.73

【生徒】

	質問事項	肯定的評価
1	毎時間の授業のめあてを知り、意欲的に授業を受けている	0.84
2	授業の中の話し合いや発表を聞いて、理解や自分の考えが深まっている	0.84
3	読書は好きである	0.41
4	自分から積極的にさわやかなあいさつをしている	0.66
5	掃除は一生懸命取り組んでいる	0.82
6	先生は、自分の気持ちや思いをよく受け止め、話を聞ってくれる	0.82
7	相談できる友達や先生がいる	0.93
8	自分にはよいところがあると思う	0.68
9	自分は仲間の役に立っている	0.52
10	友達のよいところを認めたり、思いやりのある声をかけたりしている	0.84
11	道徳の授業や講演会で心を動かされることがある	0.62
12	地域の様子や出来事に関心がある	0.52
13	地域の行事や地域貢献活動に年1回は参加している	0.65
14	地域をよくするために何ができるかを考えている	0.4

まずは保護者アンケートについてです。保護者アンケートにより高評価を受けている項目については、これから「すべては子どもたちのため」という精神のもと、全教職員で学校運営をすすめ、後期のアンケートでは更に数値が上がるよう努力してまいります。

「わが子は、一生懸命に家庭学習に取り組んでいる」「わが子はテレビやゲーム、スマホなど、家で決めたルールを守っている」については、高評価を得ることができませんでした。実はこの2つには関連があり、平日家庭学習を2時間以上行う生徒の割合は28%、それに対して平日2時間以上行うスマホ等を利用したり、テレビを視聴したりする生徒の割合は67%となっています。

つまり、SNSを利用する時間を減らし、家庭学習にまわす必要があります。学校におきましても、SNSの正しい使い方(使用時間を含めて)、家庭学習の習慣化について指導してまいります。ご家庭においても、SNSの利用に関する家庭におけるルールの確認、学校から定期的に配付しています「家庭学習表」でお子様の家庭学習の時間等を確認いただき、気付かれたことを声かけしていただけると大変ありがたいです。これからも学校と家庭が連携してお子さんの家庭学習を充実させていければと思います。

また、「学校は、地域の特徴や文化を生かした学習活動を行っている」「学校に意見や疑問を伝える機会があり、また、相談できる相手がいる」「各種のたよりやメール配信によって、学校の様子がわかる」についても高評価をうけることができておりません。「**学校は敷居が高い**」と保護者のみなさまから受け止められている結果ではないかと反省しております。学校からの情報発信不足のご指摘も受けました。ホームページについては、できる限り更新を進めるよう、現段階で改善しておりますので、是非ご覧ください。なお、お子様のことについて何か相談事がある場合は、必ずご連絡ください。ていねいな対応を心掛けてまいりますので、よろしくお願いいたします

次に生徒アンケートについてです。生徒アンケートにより高評価を受けている項目については、更に数値が伸びるよう、子どもたちの支援に努めてまいります。

「読書は好きである」の評価が50%を下回っている現状です。図書委員会が毎月「Book News」を発行し、新刊図書の情報や教職員のお薦めの書籍を紹介したり、図書館の環境整備を進めたりして、本に関わってもらえるように努めています。楠中生のみなさんは「読書の秋」を満喫するため、図書室に足を運び、本を借りて読んでみましょう。読書は人生を豊かにします。

「自分にはよいところがあると思う」「自分は仲間の役に立っている」の評価も高くありません。楠中生全体を通して「自分に自信がない」傾向がみられます。これは楠中生最大の課題ではないでしょうか。楠中生はまじめに授業を受け、掃除や部活動に全力で取り組んでいます。現在も「くすのき祭」に向けて自分の役割を一生懸命果たしていますし、合唱練習もがんばっています。また、この秋には船木・万倉・吉部の各地区で運動会が開催されましたが、地域のみなさんから中学生の協力に対する感謝の言葉をたくさんいただいています。「4C精神(チャンス・チャレンジ・チェンジ・コンティニュー)」を大切にしながら、ポジティブな自分をつくっていきましょう。やればできる!君たちならできる!

そして、最後に地域に関係する項目「地域の様子や出来事に関心がある」「地域の行事や地域貢献活動に年1回は参加している」「地域をよくするために何ができるかを考えている」の項目の評価が高くありませんでした。校長としては、この結果を知る前はこの項目については、楠中生は高いと確信していました。

しかし、結果は予想外のものとなりました。楠地区は宇部市の中では、「人口減少・人口流出」が進んでおり、船木・万倉・吉部地区それぞれがその対策のため、様々な取組を熱い思いをもって行っておられます。そのおかげで、楠中生は何の不自由もなくこの地で生活できています。つまり、地域の大人が感じている危機感を楠中生は自分事として捉えられていないと感じました。

この楠地区を支えていけるのは君たちです。「**楠のまちは、君たちなしでは始まらない**」のです。先にも述べましたが、各地区の運動会を見ていて、楠中生の活躍は運動会を盛り上げ、地域の方々に元気を与えていました。生徒総会で「地域のためにできること」を考えた君たちです。地域の担い手としての自覚と誇りをもって、地域のことを考えていってほしいと強く思います。

これが「**楠中魂**」です。やればできる!君たちならできる!

